

# 水先案内人

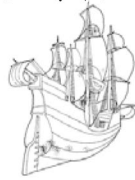


2014年度、2015年度の石川県内新築住宅着工件数ランキング（本紙・建設工業新聞調べ）で、2年連続No.1を達成したさくらホームグループのAXSデザイン（金沢市）。新年にあたりグループ代表でもある地渡政彦社長に抱負をうかがった。

## ―HEMS導入へ―

「今年は特に、棟数だけを求めていくことは考えずに、2つの取り組みを着実に進めたい」と抱負を語る。その1点目は、省エネに

## 分譲住宅のレベル向上へ



AXSデザイン社長

地渡 政彦氏

つながるHEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）、またはZEH（ネットゼロエネルギーハウス）関係への対応を挙げる。同社の主力である分譲住宅分野では、今年前半でまず約20%ぐらいの住宅にHEMSの導入を目指す。「注文住宅では、予算の面もあり、お客さんの意向があつて初めて設置することになるが、分譲

住宅はある意味、自由に新しいことにチャレンジできる。業界に先駆けてHEMS、ZEH関係に取り組み、それによって業界全体の分譲住宅のレベルを挙げていきたい」と意欲を見せる。

―最多休日、残業ゼロに―

もう1点は、「政府を挙げて取り組んでいる働き方改革。これは、さくらホームグループ全体が進めているもので、業界最多の年間休日数と、残業ゼロを目標にしている」と強調する。その取り組みは昨年の後半から開始し、「AXSデザインでは現在、残業時間が月間平均20時間内までに減ってきており、それをゼロまで持っていきたい」と説明し、グループ全体での働き方改革の実現を目指す。また、同社では女性の割合が年々増加し、社員全体の6割程度を占めるようになった。「現場監督も女性、設計も女性が多くなってきており、女性の力をもっと活用していくために、今後とも女性が働きやすいような勤務形態、雇用形態を積極的に取り入れていきたい」と語り、今年の新規採用も男女問わず昨年以上の人数を見込む。

―富山、福井で事業拡大―

今年は主力の石川は中心に、富山、福井の北陸3県で年間360棟の目標を設定。特に、「福井県では、事務所が昨年11月にオープンして丸1年が経ち、いよいよ軌道に乗ってきたところ」と期待を寄せる。さらに、富山県内では市場拡大に伴い、現在の富山支店がかなり手狭になってきていることから、今年中に事務所を拡張、または移転させる方向で検討している。このほか、同社が提供する土地と建物をセットにした1棟売りの分譲アパート「D-BOX」シリーズも昨年は好調に推移。コストパフォーマンスが大きく、収益性が高いことから、将来に向けた資産づくりを目的に、アパート経営を始めた人に人気を集めている。今年も石川、富山以外の福井でも力を入れ、さらに事業を拡大していく予定だ。

## グループ全体で働き方改革